

青森市立青嶺のぞみ中学校の校章について

1 校章デザイン案募集概要

- (1) 応募期間：令和8年7月1日～7月31日
- (2) 応募件数：79件
校章デザイン案に込めた考えには、校名の由来である『青嶺・八甲田山』をモチーフにしたものが34件、のぞみから連想される『星・星座』をモチーフにしたものが30件あった。

2 校章決定の観点・考え方

- (1) 青森市公立夜間中学設置基本方針や校名を踏まえた学校として長く親しまれるデザインであること
- (2) 1人1点とし、自作によるもので未発表かつ他に類似しないデザインとすること
- (3) デザイン案から教育委員会が選定すること、また、選定にあたり、一部を加工する場合があること
- (4) 著作権、知的財産権及びその他一切の権利は、教育委員会に帰属すること
- (5) 製作者に対する謝礼等はないこと

青森市公立夜間中学設置基本方針（抜粋）

○目指す学校像

人生100年時代を見据え、生徒一人一人が、世代や国籍を超えて「学ぶ喜び」や「人とつながる喜び」を分かち合い未来を拓く学校

○学校づくりの視点

- ① 生徒一人一人の思いや考えに応じたきめ細かな支援をします
- ② 世代や国籍を超えた居場所づくり、絆づくりを支援します
- ③ 安全・安心な学びの環境を整備します

3 候補作品

候補1	候補2	候補3
		
応募者の考え	応募者の考え	応募者の考え
全ての人に学びへの扉を拓き、一人一人が希望ある未来へ歩み始める姿を表現。扉は「学校が開く扉」でも「生徒が自分で開いて進む扉」でもある。中央の光は学びと希望を、下部の山並みは青森と「青嶺」を表し、校名の「のぞみ」に込められた未来への願いを象徴している。	上部は校名の由来である青嶺、輝く星は、一人ひとりの希望、下部の開かれた本は学びの象徴、広がるページは、人とのつながりと、それぞれの未来へ羽ばたく姿。開かれた本の先に広がる青嶺は、学びを通して高みを目指し、未来を切り拓いていく願いを込めた。	上部に校名の「青嶺」八甲田山、生徒が迷わずに歩むための羅針盤を配置、両脇には生徒の湧き立つ強い向上心を炎の形で表現。中央には生徒を表す青い鳥と扉を配置し、自分の可能性の扉を開け、希望（のぞみ）を持って羽ばたいていこうとする姿をデザインした。

※令和8年8月18日（火）開催の教育委員会定例会において、「候補1」に議決。

4 校章に係る今後のスケジュール

- 9月13日（日） 入学希望者説明会にて発表
- 9月16日（水） //
- 10月 1日（木） 広報あおもり10月号（特集記事）に掲載
- 10月末日まで 内照式校名看板設置工事